

【 注射 】

801 閉経前乳癌術後に対するLH-RHアゴニスト製剤の算定について

《令和8年3月31日》

○ 取扱い

閉経前乳癌術後に対するLH-RHアゴニスト製剤（ゾラデックス3.6mgデポ等）の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

ゾラデックス3.6mgデポ等のLH-RHアゴニスト製剤の添付文書の効能・効果は「閉経前乳癌」であるが、閉経前乳癌の術後においては、術後内分泌療法として、タモキシフェンやアロマターゼ阻害剤と併用され、これらの併用は乳癌診療ガイドライン2022年版（日本乳癌学会）において強く推奨するとされている*。

以上のことから、閉経前乳癌術後に対するLH-RHアゴニスト製剤（ゾラデックス3.6mgデポ等）の算定は、原則として認められると判断した。

(※) 閉経前ホルモン受容体陽性乳癌に対する術後内分泌療法として、LH-RHアゴニスト製剤とタモキシフェンの併用を強く推奨する、LH-RHアゴニスト製剤とアロマターゼ阻害剤の併用を強く推奨するとされている。